

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ルルディ 蘇我教室		公表日 2026年 3月 10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・児童発達・放課後等デイサービスの指導空間を別にし、学べるようサポートをしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・子どもと一対一を大事にしつつ、全体を見ることが出来るようにしています。	・曜日・時間帯によるがもう一人スタッフがいると良いと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・教室の掲示物など児童から目目で見て分かるよう掲示しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・ルンバや掃除機など環境を綺麗にする工夫があります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	・個別の部屋はないが、1人になれる場所があります。	・必要に応じて部屋の配置を工夫し、空間を作れるよう配慮を行っていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	・職員個人での振り返りも見られてより良い支援につなげるようにしています。	・システムでいつでも閲覧することができるが、随時ミーティングを行い共通認識ができるよう取り組んでいきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・随時問題点などは、千葉市に確認を取り間違いがないよう徹底しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	・HUGシステムを利用し、スタッフならいつでも確認ができるようにしています。	・スタッフミーティングを行い共通認識を定期的に行っていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・同じ活動でも違う内容を取り入れたりし、繰り返すことで身に着くような工夫点があります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・前もって支援について振り返りや、共通認識を行っています。 ・毎日スタッフミーティングを行い共通認識を図っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	・スタッフミーティングを行い共通認識を定期的に行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	・園や学校や他事業所などに、児童の様子などを伺い会議を行っています。 ・サービス担当者会議ではスタッフ全員が子どもの状況が理解でき、サポートが出来るよう指導を行っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	・障害福祉、保育、教育等の関係機関との連携を行える交流がないか検討していきたいです。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・園や学校や他事業所などに、児童の様子などを伺いスタッフミーティングを行い連携を図っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・未就学から小学校などへの就学以降については、就学予定学校への挨拶や状況確認を行い情報共有・総合理解を行っています。 ・園や学校や他事業所などに、児童の様子などを伺いスタッフミーティングを行い連携を図っていききたいと思います。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	・地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会など、連携を行える交流がないか検討していきたいです。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会など、連携を行える交流がないか検討していきたいです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	・送迎時に一日の様子を伝えています。 ・不明点や問題などがあればいつでも、面談や連絡ツールからお話ができるよう取り組んでいます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等、連携を行える交流がないか検討していきたいです。	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	・今後の課題として、保護者同士で交流する機会を設けるサポートを行い、きょうだいなども一緒に関わられるような交流がないか検討していきたいと思っています。

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3			・事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営などの交流会などを検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1			・利用児童に薬などの服薬があるときは、注意点などをお伺いしています。現在、てんかんなどの症状のある児童は利用されていません。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5				・当児童・他児童アレルギーへの理解や危険を認識する指導を行い、個別に対応をしています。また、提供時にはアレルギー成分がないものを保護者にも成分表を送り、ダブルチェックを行う等の対応をしています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5				・安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援を行っていることを周知していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5				・こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容ご家族に周知に取り組みます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5				・ヒヤリハットしたことがあった時には、書面に残しスタッフが目にする場所に掲示し、共通認識を行っています。月初めにミーティングを行いヒヤリハットを読み上げ、再発防止に努めています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				・虐待に対してきちんとした認識が持てるよう、講習会の動画・勉強会を行いスタッフ一同学んでいます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				・個別支援計画書に記載し、計画書の交付時に自身への危険があった際の身体拘束について説明させていただいております。	